

国際産学連携溶接計算科学研究拠点（CCWS）第17回講演会の報告

CCWS リーダー：麻寧緒

2025年3月19日(水)10:00～17:00 国際産学連携溶接計算科学研究拠点(CCWS)は、『自動車の軽量化材料と接合部の強度評価』というテーマで、第17回講演会を接合科学研究所荒田記念館で開催しました。7名の講師が基調講演や招待講演を行い93名の方々にご参加くださいました。

午前中のセッションで、慶応義塾大学・大宮正毅教授が「高張力鋼板スポット溶接の局所力学的特性評価とCAEによる破断予測」について基調講演を行い、スズキ自動車・長坂圭様、JFEスチール・佐藤健太郎様は、それぞれ、「自動車衝突時の客室減速度に対する部材寄与度の解析」と「高強度鋼板の衝突変形破断現象と材料特性モデリング技術」という題目で招待講演しました。

産学連携ランチセミナーでは、JSOL社とMetalleco社は、それぞれCAE技術および溶接自動化技術を紹介しました。

午後のセッションでは、早稲田大学・吉田誠教授が「車体用非熱処理型Al-Mg系合金ダイカストの開発の事例紹介とギガキャストにおける課題」について基調講演を行い、トヨタ自動車・西村律様と日産自動車・武田力紀様は、それぞれ、「超ハイテン材CMTアーク溶接継手の軟化領域をモデル化した残留応力と延性破断強度の評価」と「CAEによる自動車衝突安全性の評価」という題目で招待講演しました。本講演会の最後には、本研究拠点の麻寧緒教授が「各種接合法プロセスと継手強度評価の数値シミュレーション」について研究事例を報告しました。

講演会中で活発な質疑討論がなされ、講演会後で参加者と講演者は情報交換や名刺交換を行いました。

